



「那覇市ICT情報教育推進部会」の活動

令和三年度より那覇市「ICT情報教育推進部会」（以下、推進部会）を設置した。推進部会の目的は、「ICTを活用した授業展開ができる教員を育成するために、ICT情報教育推進部会の運用と学校における「ICT支援員等を活用したICTに関する研修の充実を図り、児童生徒が一人一台の情報端末を効果的に活用した授業実践が行われることである。

今年度の推進部員は、市内小中学校教諭八名（小学校五名、中学校三名）である。
活動内容は、次の四つである。

- ① デジタルシテイズンシップの考え方を取り入れた情報モラル教育の年間指導計画について研究を行い、その成果を学校へ提供する。
 - ② 文部科学省が提示した「ICTを効果的に活用した学習場面の「10の分類例」に沿って、「ICT情報教育指導員がタブレット端末を効果的に活用した授業実践を行い、その事例を那覇市内小中学校へ提供する。
 - ③ 「ICT情報教育指導員の代表一名による公開授業を年一回行う。
 - ④ 情報教育研修会や経年研修会等で実践事例を発表する。
- 令和五年度からデジタルシテイズンシップ教育をどのように授業実践するか、研究し公開授業（オンデマンド）を実施してきた。今回は、公開授業の概要を紹介する。

令和五年度の実践（公開授業） 学級活動（2）デジタルシテイズンシップ教育

題材名『メディアバランスを考えよう』

授業者 石田中学校 二年生 教諭 平数 勇太

「本時のねらい」自分の生活を振り返り、自分に合ったメディアバランスを計画（意思決定）することができ

る。
【授業仮説】メディアバランスがとれた利用計画を発表する場において、グループでの意見交流があれば、より実践的な計画を作成し実行に移す意思決定ができるであろう。

【導入】○事前アンケートの結果を確認 ○言葉の定義を示す（実践のポイント）「メディアバランス」→健康で他の生活とのバランスが取れていると感じる方法でメディアを使うこと。

【ワークシート①】「つかむ」普段、家でのようなメディアをどれくらいの時間を使っていますか。

「さぐる」問い 一日二十四時間あって、生活に必要な時間は？→日常生活の中で自由に使える時間は意外と少ないことに気づかせる。

【ワークシート②】自分にとってもっとすばらしいメディアバランスを計画しよう。友達と意見交換で直したいところは赤で消したり、書き加えたりしよう。【見つける】発表に視点 自分が①工夫した点、②大事にしたい点（ワークシート③）【決める】普段の生活を振り返り、継続したいこと、問題点を受けて、工夫すること・挑戦したいことを書く。

○実践後の生徒の感想 ○授業者の感想 ○授業実践まとめ

令和六年度の実践（公開授業）★一月末公開予定 総合的な学習の時間

「責任ある情報発信になるためにはどんなプレゼンテーションにすればいいか考えよう」

授業者 高良小学校 六年生 教諭 座波 俊雄
総合的な学習の時間において、職場見学で学んだことをスライドにまとめ、発表する際にGoogleサイトを使用し校内の他学年に限定公開する。公開するスライドに掲載している写真や文章などが、責任ある情報発信になっているかをデジタルシテイズンシップの考え方から見直し、修正をかけていく活動になっている。



「那覇市ICT情報教育推進部会実践事例サイト」

那覇市「ICT情報教育推進部会」にて実践したタブレット端末等の「ICT」を活用した授業実践例の提供やその他、情報教育に関する資料のリンクを紹介している。

令和五年度の公開授業もこちらから配信。令和六年度の公開授業に関しても一月末にオンデマンド配信予定。



令和6年度 第123期教育研究員 検証授業・検証保育の様子

研究員名	研究テーマ
松田 泰知	自律的にデジタル社会と関わる児童の育成～学級活動(2)を契機とした教科横断的な指導の工夫を通して～
米須 智子	自分の願いや思いを表現する児童の育成～架け橋期における気づきの質を高める学習指導の工夫を通して～
永村 裕子	好奇心をもち、探求するする園児を目指して～園児の興味や関心に沿った、表現活動を通して～

12/4(水)松田研究員
城南小学校3年2組



12/5(木)米須研究員
松島小学校1年3組



12/9(月)永村研究員
大道みらいこども園
きりん組

